

阿蘇にスイーツ列車がやってきた

『或る列車』阿蘇～大分間を限定運行

車内でスイーツを堪能できる豪華観光列車『或る列車』が7月19日、阿蘇～大分間を初運行し、YMCA黒川保育園の園児らが阿蘇駅で出迎えました。

『或る列車』は、これまで大分～日田間や長崎～佐世保間で高級志向の観光列車として運行されており、今回は元氣な阿蘇を発信するためにJR九州が特別コースとして月一回一往復の限定運行を企画。以降は、8月23日（水）、9月20日（木）に運行されます。

2両編成・定員36名の車内では、阿蘇市産の牛乳をはじめ九州の食材を使ったスイーツのフルコースを楽しむことができます。

わだい



『或る列車』を出迎えたYMCA 黒川保育園の園児たち



寄せ植えをする阿蘇中央高校の生徒と『つどい』の利用者

育てた花と元気を贈ります

阿蘇中央高校の生徒が寄せ植え交流と花の贈呈

阿蘇中央高校の生徒らが7月24日、小規模多機能型居宅介護『つどい』で施設利用者と花の寄せ植え交流を行いました。

阿蘇中央高校農業食品科3年生のボランティア班6名は、高齢者との交流を目的として、学校で栽培したヒマワリなどの花の苗を施設利用者と一緒にプランターに寄せ植えし、施設内に設置しました。出来上がったプランターは夏の期間楽しむことができます。

また、7月21日、27日、28日の3日間で市内5カ所の仮設住宅入居者に「元気を贈りたい」と花のプランター45個を寄贈。入居者は「大事に育てたい」と感謝を伝えました。

スポーツを通じ国際交流

日独スポーツ少年団同時交流事業

日本とドイツのスポーツ能力に優れた青少年と指導者が相互に派遣・受入をする「日独スポーツ少年団同時交流事業」（熊本県体育協会主催）が行われ、日本の受入として7月24日～28日の4泊5日でドイツスポーツ少年団が阿蘇市に滞在しました。

ドイツから18歳～37歳の水泳ほか2種類の選手7名が来日。火の山スポーツクラブのインストラクターを中心とした4軒のホストファミリーの家に滞在し、阿蘇の観光や空手・水泳・習字など日本のスポーツ・文化を体験し国際交流を行いました。

滞在を終えたスポーツ少年団は「阿蘇は人が温かく食べ物もおいしい。今後も交流を続けていきたい」と感想を述べました。



スポーツ少年団とホストファミリーの皆さん

News



目録を贈呈したキリン絆プロジェクト(株)麻生熊本支社長(左)と日本財団荻上経営企画部長(右)

阿蘇サイクルツーリズムを応援

キリン絆プロジェクトから支援金贈呈

被災地を応援するため、キリングループが寄付し公益財団法人日本財団(会長 笹川陽平)が設置した基金事業『キリン絆プロジェクト』に『阿蘇サイクルツーリズム学校プロジェクト』が認定され、7月26日に支援金1千万円の目録贈呈式が農村環境改善センターで行われました。『阿蘇サイクルツーリズム学校プロジェクト』は自転車を使った地域活性化策として、阿蘇の草原や地形を利用したサイクリングコースの確立や観光商品開発、情報発信、人材育成などを展開し、サイクリストの聖地として国内外から選好される観光地づくりを目指します。

ジオパークの子どもたちが阿蘇で交流

九州ジオパーク子ども交流事業『マナビ旅』

九州・山口各地のジオパーク活動に取り組む地域の子どもたちが交流する『マナビ旅2017』が7月29日〜30日の2日間、阿蘇ユネスコジオパークを舞台に開かれました。この取り組みは、子どもたちが地球の活動やお互いの地域の素晴らしさを学習することによりジオパーク活動への理解を深めることを目的としており、おいた姫島ジオパークなど九州・山口の6地域のジオパークの子ども達60名が参加。阿蘇ジオパークガイド協会の案内で火山博物館や草千里、大観峰などで阿蘇の成り立ちなどについて学びました。

わだい



風船と小麦粉を使ってカルデラができるまでを解説

わだい



国造神社の神輿の様子

五穀豊穡を祈願して

国造神社・阿蘇神社で御田祭

国指定重要無形民俗文化財である阿蘇の農耕祭事の一つ、御田植神幸式(御田祭)が7月26日に国造神社で、28日に阿蘇神社で行われました。阿蘇神社では、社務所横に建てられた仮拝殿で神事が行われた後、神職や早乙女を乗せた馬や白装束で神様の食事を運ぶ宇奈利、神様が乗る4基の神輿、田植え人形を持った小学生などの行列が集落や青々しい田園の中を練り歩き、五穀豊穡を祈願しました。行列の近くでは、祭りに見に来た観光客やカメラマンなど猛暑にもかかわらず多くの人達で賑わいました。

復興応援でゴルファーが集結

熊本・阿蘇シニアオープンゴルフトーナメント

コスギ不動産や熊本銀行、福岡フィナンシャルグループの特別協賛により、コスギリゾート阿蘇ハイランドゴルフ場で7月28日～30日の3日間、熊本・阿蘇シニアオープンゴルフトーナメントが開かれました。

このゴルフトーナメントは、熊本復興応援を目的として開催され、プロやアマチュアのゴルフアー144名が参加。優勝は秋葉真一プロ（開文グループ）、ベストアマチュアを大塚寛さん（高千穂）が受賞しました。

また、大会にあわせて実施されたチャリティオークションや参加費の一部が、熊本県と阿蘇市に寄付されました。

わだい



ベストアマチュア受賞の大塚さんには阿蘇市のブランド“然”の商品が贈られた

わだい



室蘭市での交流試合の様子



キッズサッカーチームが招待遠征

阿蘇JSCマグラーズが北海道で交流試合

少年サッカーチーム阿蘇JSCマグラーズ（仲道隆監督）が7月29日、北海道室蘭市で開かれた『道民共済キッズカップ2017』に招待され、交流試合を行いました。

熊本地震の復興支援として被災地のキッズサッカーチームが招待された本大会では、JSCマグラーズの2・3年生11名が遠征。開会式では、梶原悠人主将が「地震により大好きなサッカーができない日々が続いたが、全国からの支援を受け少しずつ元気になっています」と感謝を伝え、北海道のサッカーキッズと熱戦を繰り広げました。

被災した校舎にお別れ

阿蘇西小学校災害復旧工事始まる

熊本地震で校舎やプールに大きな被害を受けた阿蘇西小学校では、校舎の建て替えに伴い高学年棟が解体されるため7月19日、全校児童たちが集合して校舎にお別れをしました。

阿蘇西小学校の児童は、現在、旧尾ヶ石東部小学校を仮校舎として利用しています。当日は、全校児童133名とPTAが集まり、ドローンで記念撮影会が行われ、参加者は想い出いっぱい校舎やプールにお別れと感謝を伝えました。

被災した高学年棟とプール棟は解体後、建替工事を行い平成30年12月の完成を予定しています。

わだい



阿蘇西小学校の校舎をバックに集合写真（児童保護者提供）

News



草千里を散策し虫や植物を観察

ジオサイトを体験

夏のジオサイトツアーと阿蘇火山博物館

阿蘇市のふるさと納税制度A
S環境共生基金の実施事業と
して8月5日「夏のジオサイト
ツアーと阿蘇火山博物館」と題
した自然観察学習会が開かれま
した。
この基金は阿蘇の自然環境を
維持するためのもので、子ども
たちを中心とした環境教育、阿
蘇に自生する貴重な野生植物の
保護、草原再生や景観整備など
環境に関する活動に取り組んで
います。
今回実施した学習活動には市
在住の親子20名が参加。スタ
フの案内で草千里を散策し、火
山活動や草原の生き物について
説明を受けました。また、火山博
物館では、実験やジオラマなど
を使って阿蘇火山の誕生につい
て学びました。

阿蘇医療センター開院3周年イベント

市民公開講座と健康フェスタ

阿蘇医療センターの開院3周
年を記念して8月5日、市民公
開講座と健康フェスタが開かれ
ました。
市民講座では、『認知症・がん・
感染症に関すること』をテーマ
にそれぞれの分野の認定看護師
（特定の看護分野で熟練した技
術と知識を有する看護師）が講
演を行いました。また、講座後は
健康フェスタが開かれ、阿蘇医
療センターの専門職・技術スタ
ッフが特設ブースを開設。市民
の健康意識向上と健康増進を目的
とした無料の相談窓口や体験
コーナーを設置し、訪れた人た
ちは普段から気になっている健
康に関する疑問についてアドバ
イスを受けました。

News



AEDの使い方と一時救助処置を体験

すっぱい！？あまい！？

YMCA 赤水保育園がブルーベリー収穫体験

阿蘇内牧ファミリーパークあ
そ☆ビバに植えられたブルーベ
リーに実がなり、8月8日に
YMCA 赤水保育園の園児たち
が収穫しました。
収穫体験を行ったのは、同保
育園の年中組の園児17名で、公
園の管理者であるASOワーク
ネットの職員の指導で濃い紫色
の熟れたブルーベリーを収穫。
園児たちはブルーベリーを口に
含みながら「酸っぱい実や甘い
実があつておいしい」と笑顔
で収穫しました。
収穫したブルーベリーは、お
土産として園児に渡されたほ
か、仮設住宅の内牧団地入居者
19世帯への贈り物として園児か
ら手渡されました。（この後、全
仮設住宅にも贈られました。）

わだい



収穫したブルーベリーを見せ合う園児たち

建設業若手が相互協力

阿蘇地区建設業青年部発足とボランティア活動

阿蘇地区の建設業若手経営者18社で組織する阿蘇地区建設業青年部（森本剛志会長）が8月3日に発足し、活動の第一弾として同日、阿蘇山上でミヤマキリシマ剪定のボランティア活動を行いました。

阿蘇山上では約30万株のミヤマキリシマが自生していますが、一部が火山ガスや火山灰の影響で枝が枯れて景観を阻害しており、新芽の育成も心配されています。剪定作業には建設業青年部20名が参加。阿蘇山上の景観保全に向けて汗を流しました。

青年部では、今後も阿蘇の地域貢献活動に取り組む予定です。

わだい



一面灰色になったミヤマキリシマの枯枝を剪定



発足した阿蘇地区建設業青年部の皆さん



WebTV アソ

わだい


火焚殿で火を灯す
颯希さんと介添えのルリ子さん


WebTV アソ

59日間絶やさず火焚き

霜神社で火焚き神事始まる

国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つ火焚き神事が8月19日に始まり、霜神社で乙女入神事が行われました。

農作物を霜の被害から守り豊作を祈るこの祭事は、建磐龍命の由来「鬼八」の恨みを鎮めるために始められたと伝えられ、乙女揚げの10月16日まで火焚殿に祀られたご神体を温め続けます。

第2777代目と言われている今年の火焚き乙女は竹原颯希さん（YMCA黒川保育園）が務め、介添えの祖母ルリ子さん（竹原）とともに、火焚殿で火を灯し、59日間の火焚きが始まりました。

国指定重要無形民俗文化財「阿蘇の農耕祭事」の一つ火焚き神事が8月19日に始まり、霜神社で乙女入神事が行われました。

旅中の子ども達にエール

阿蘇ロータリークラブが九州横断徒歩の旅を応援

子ども達が自分たちで九州横断徒歩の旅を歩く「参勤交代・九州横断徒歩の旅」(NPO法人自然を愛する会主催)が阿蘇市を通過し8月19日、今町神社で阿蘇ロータリークラブ(高宮今朝秀会長)が道中の子ども達を迎え入れ、湧水やかき氷などを振舞いました。

熊本にゆかりのある小中学生が参加するこの旅は、サポートの高校生・大学生を含め260名が参加。この日波野から内牧へ向かう子ども達は、ロータリークラブが設置した休憩所で疲れを癒し、元気がいっぱいになりました。

阿蘇ロータリークラブは、青少年育成を目的として毎年子どもたちのサポートを行っています。

わだい



子どもたちを見送るロータリークラブメンバー